

日本をキリストへ 協力

「日本をキリストへ」
伝道団体連絡協議会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1
TEL 03-3291-5035 (総動員伝道内)
www.gospeljapan.com/dd/

わが靈によつて



ゼカリヤ書四章

六節には「武力によらず、権力によらず、ただわが靈によつて、と万軍の主は言われる」とあります。紀元前五三二年から四八六年の間に、政治的指導者として働いたゼルバベルは、破壊されたエルサレムの神殿の再建に努力し、その事業を完成させました(エズラ記二章)。聖書は、彼の働きは神の聖靈の働きによると記しています。

今日の日本のキリスト教会に必要なのは、この聖靈の働きであります。最近の新聞報道によると、若者達の無謀な行動が様々な悲劇をもたらしています。心寒からしむ殺人事件、ひったくり、自動車の無謀運転、

あるいはインターネットからむ犯罪等々。

犯罪心理学の専門家は「今の若者は社会のマナーやルールを大人からしっかり教えられず、叱られもせず育っているから逆ギレをする」と言っています。殺人や暴行事件があまりに多い今日の世情を考えると、我々クリスチャンの責任を痛感します。「伝道しなければならぬ、若者達を救わねばならぬ」と、声なき声が叫んでいます。

かつては超教派伝道が盛んになされた時代がありました。武道館を人々が埋め尽くし、後樂園スタジアムを満員の聴衆がピリィグラハム師のメッセージに耳を傾けた、かの時がなつかしい。さらにさかのばれば、超教派の青年牧師の心を燃やし、そのリバイバルの中で献身を決意した若き頃を偲ぶ。

日本に救霊の火が燃える時のくるのを待ち望むや切であります。

お互いに心を合わせて祈ろうではありませんか。主は必ずや応え給うと信じます。

日本キリスト伝道会

原 登

六篇よりその名をとり、また詩篇三三篇三節をその働きの土台とした。最高の神様を賛美するために新たな賛美・ゴスペルをこの日本に伝え広め始めた。当時の教会は保守的なところが多く、賛美に関しては特にそうであったために、最初はなかなか認められなかった。「出会いのコンサート」や「ミュージック・セミナー」を各地で行なわれ、十三回行なわれた「ジェミナ・ジャパン」、そしてまだ記憶に新しい「マーチ・フォー・ジーザス」といった大イベントの成功により、日本の賛美がゴスペルを受け入れ、また日本のゴスペルを生み出す土壌になってきている。

神に祈りつつ、また状況を考慮し、示されたミクタムの新たな道は「礼拝の賛美リーダー」の育成・賛美の質の向上である。教会を特異な場所としてではなく、日常として捉え礼拝を伝道の場とするためには、賛美の質の向上、そして賛美リーダーの育成が絶対不可欠である。教会の賛美を土台から今一度作り上げていこうというのである。また賛美を通して、教会に対し、世の中に対して、大きな働きかけとなるようにいつも神様のお導きを祈り求めていきたい、との言葉が印象的でした。

記…クリスチャン文書伝道団 中野 誠
●次回訪問ツアーは、十月二日(木)「国際航鉄対策機構」を訪問予定です。どなたでも是非ご参加ください。(詳細は別途案内予定)

伝道団体紹介

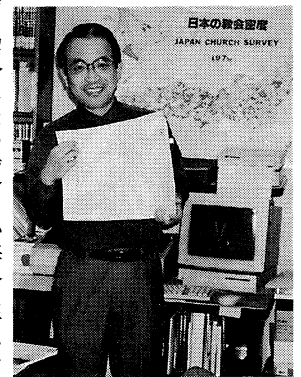
●教会インフォメーション・サービスマ 「教会所在データベースによる教会支援」

教会インフォメーション・サービスマ 花園征夫

私どもはどのような必要にお答えしているか
教会インフォメーション・サービスマ(CISS)「アイエス」の利用者は次の様な方々です。

一、未信者・聖書を学びたい、初めて教会に行きたいと思つた未信者の方に、近くの教会を教会する。未信者はタウンページやインターネットでCISSの電話番号などを調べてCISSへ連絡をしてもらえます。

二、クリスチアン・引越しや旅行でクリスチアンがよその町の教会へ出席する
三、宣教師や牧師先生方・新しく教会を始めるとき(開拓伝道)の教会や地域の情報を提供する。
四、その他…日本の教会の実情について、報告するときに必要な教会データの提供をする。



族などに教会を紹介したい場合とか海外に行つていてクリスチャンになつて帰国した人への教会の紹介。

CISSの利用者は現在未信者、宣教師、牧師、信者、その他の人々もあります。昨年の実績では問い合わせ件数合計二五八件の内、宣教師二二%、信徒三十四%、牧師九%、未信者が二十三%ありました。問い合わせの内容は教会紹介が七十%(一八一件)、その他が二十%(五一件)、教会宣教調査が十%(二六件)ありました。

CISSには日本中のプロテスタント教会のすべてのリストが集められています。そのリストには

一、教会名 二、所在地 三、電話番号 四、牧師名 五、教派、団体名 その他教勢データ、会員数などが保存されています。北は北海道から南は沖縄まで全部がコンピュータにデータとして保存されています。また、日本全国、それぞれ区、市、町村(郡部)の地図の教会のある場所に教会が書き込んであります。これによって、どこに、どのような教会があるか、どこには教会がないかをたやすく見ることが出来ます。

その始まり
一九六九年、ドネル・マククリン宣教師(アツセンブリズオブゴッド)が自分の宣教計画を立てるために、日本にある教会の所在を示すリストと地図を作ろうとしたのがCISSの始まりです。この働きは日本福音宣教師団(JEMA)に引き継がれまし

た。教会とともに前進するために伝道団体連絡協議会や日本福音同盟(JEMA)との協力会員として活動してきました。しかし、教会インフォメーション・サービスマ(CISS)はどの組織にも属さず、独立した組織として、今まで活動してきました。

教会データの集計と保存

私たちは、毎年年度集計を行ない、教会のリストを更新すると共に、日本の教会の教勢データを集めて集計し、日本の教会の前進を記録しています。教会数、会員数、礼拝出席数、受洗者数を調べて、十二月にその集計を発表しています。

これからのCISS

私たちは今後も日本の教会のため、私共の教会所在データベースを活用して、教会の前進を支援して行きたいと思つています。また、さらに必要なデータを集めて、教会を支援し主に仕えていきたいと思つています。ホームページもご覧ください。

<http://www.church-info.org/>

●クリスチャン新聞 「聖書信仰に堅く立ちつつニーズに応じ多様な形で」

クリスチャン新聞編集長 根田祥一



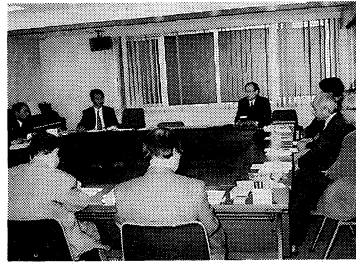
クリスチャン新聞は、いのちのことは社の新聞部門として一九六七年に創刊されました。当時すでにクリスチャン新聞がありましたが、聖書信仰に立ちクリスチャンのライフサイクルである「週刊」で神の働きを伝える新聞が必要だと、当時のケネズ・マクビティ理事長がビジョンを掲げたものでした。以来、「聖書信仰の確立」「宣教のビジョン」

「健全な教会成長」「実際の生活の指針」を編集方針としてきました。時代の流れと共に扱う記事のウエイトには変遷がありますが、この四つの方針は一貫してクリスチャン新聞の基盤として堅持しています。

「日本をキリストへ」伝道団体連絡協議会 第十九回 総会議事録

日時：二〇〇三年四月十四日(月)

午後二時～四時十分
場所：お茶の水クリスチャンセンター 四一五号室



第一部 礼拝
司会：萩生田充兄
奏楽：鈴木優子姉
奨励：姫井雅夫師
「示し始められました」
申命記三章

二十一～二十九節
モーセの生涯は奇跡の連続であった。生まれてすぐエジプトの女王に助けられ、四十年たつてイスラエル人を助け、エジプトを追われ、四十年後、燃える柴の中から主はモーセに対してイスラエルの嘆きを聞き解放する為にパロ王の前で十の奇跡を行い、出エジプトをし同胞の渴望の叫びに、水、マナ、うずらを与え、四十年の長旅を強いられ、これからヨルダンを渡って乳と蜜の流れる地を前にして、モーセは二十四節で「主よ、あなたの偉大さと力強い御手を、このしもべに示し始められました」。主は百二十歳まで何度もモーセに奇跡のわざを示していたのに、なぜそう言ったのか。モーセは主に約束の地に行きたいと願いますが、神様は「もう言うな、ヨシユアにバトントタッチだ、お前は入れない」と。今の日本のキリスト教界の状況、世界の状況も黒雲に覆われているようですが、主が先に我々を導き、「これからです、主よ」そんな信仰を持って進みたいと思いませんか。

第二部 総会
点呼がなされ、出席団体十二、委任状五、参加四十三団体の三分の一以上の出席が確認され、総会の成立が宣言された。議長に、姫井雅夫師、書記に小林幸順兄が選出される。

一、二〇〇二年度活動報告
洪沢浩二師により別紙、活動報告に基づいて報告

がなされ、承認された。
団体訪問ツアーで三団体を訪問し、「協力」に載せた。教会訪問は一部しかできなかったが、また新しい企画をやってみよう。

二、二〇〇二年度会計報告
中川信義師により別紙の会計報告に基づいて、以下のような説明がなされ、承認された。

収入に関して(一)会費収入は、予算四三三〇、〇〇〇円、決算三二〇、〇〇〇円、四十三団体のうち三団体が休止の状態にある。正しい会費納入は四一〇、〇〇〇円になる。(二)献金はたくさん与えられた。一一七、〇〇〇円、本田弘慈師奥様より記念献金五〇、〇〇〇円、日本メディア伝道協会、鈴木優子姉より献金をいただく。(三)全日本福音宣教会が二〇〇一年度会費納入後、退会した。

三、二〇〇二年度会計監査報告
監査の辻岡健象師から、帳簿、通帳、現金などチェックしたが、いずれも正確、適正であった。会計担当・中川師の労に感謝を表した。

四、二〇〇三年度活動計画案
洪沢浩二師により、別紙、活動計画案に基づいて説明がなされた。一、総会の礼拝説教は村上宣道師が次席の為、姫井雅夫師にお願いした。二、伝道協加盟団体訪問ツアーは六月五日(木)ミクタムレコード訪問、その他に年度内二回を予定。三、一泊研修会、二〇〇三年十月二十日(月)～二十一日(火)湯河原厚生年金会館 講師：水谷恵信師「聖書の学び方について」を検討し五十名ぐらゐの参加を希望している。四、機関誌「協力」の発行を年三回予定。五、情報交換会、二〇〇四年二月〇〇〇〇〇〇四階会議室。六、役員会の開催、年に六回と必要に応じて臨時役員会、各委員会を開催予定

五、二〇〇三年度会計予算案
中川信義師により別紙、二〇〇三年度会計予算案に基づいて説明がなされた。

パラビジョンと日本福音カレッジは(グッドニュース誌は残る)今はなく、全体は四十一団体となり、全団体会費を納めれば四一〇、〇〇〇円。水谷師の講演カセットテープが手元に十二本残っている必要な方へ一本千円で販売。

二〇〇三年度会計予算案は承認された。
六、二〇〇三年度役員が別紙名簿によって紹介され

承認された。なお日本聖書協会の野中陽子姉に代わって同団体の小林幸順兄が常任役員となった。監査は、辻岡健象師、栗原一芳師にもう一年できるか確認をとる。伝道団体連絡協議会にも新しい風を入れるため、次回までに若い方を各団体からも役員に推薦していただき、役員会でも提案し検討する。

七、出席十三団体の活動報告と、相互の祈りの時を持った。
閉会祈祷：花蘭征夫師

伝道団体訪問ツアー

ミクタムレコード



二〇〇三年六月五日、前日まで降り注いでいた雨も当日は上がり、少し夏を思わせる陽気の中、今回の伝道団体訪問ツアーに参加させて頂きました。今年度第一回目はミクタムレコード(以下ミクタム)にお伺い致しました。今回参加団体は四団体(国際ナビゲーター、クリスチャン文書伝道団、総動員伝道、ブリッジ・フォー・ピース)の四名参加と少々寂しい感じでしたが、かえってミクタムの方々と良き交わりの時が与えられ感謝でした。

少々遅れてしまっただにもかかわらず、笑顔で私たちを迎えてくださったのは、ミクタム代表取締役の高毅華さんと近藤直子さんのお二人でした。一息入れた後に、高社長からミクタムのお働きについて丁寧なご紹介とこれからのビジョンについてお話頂きました。

ミクタムは神様のお守りにより昨年創立二五年を迎えたが、その道りは困難なものであった。もともとと芸能界で音楽の才能を十分発揮していた小坂忠先生と高社長はレックス・ハンバードの集会で音楽伝道の召命を受け、ミクタムを立ち上げた。詩篇一

一般に「福音派の新聞」という見方をされますが、それを狭い意味でとらえてはいません。例えば、様々な論議を呼んできたクリスマ運動に対し、それを排除する意味で「福音派」という場合があるが、クリスマ運動も含め聖書を神のことばとして重んじる「聖書信仰」の一環と考えてきました。また、政治的・社会的問題を軽視するような意味で「福音派」という場合もありますが、クリスマ運動は「福音派」に属するものではなく、信仰の問題として社会的な諸問題にも対応する視点を打ち出し続けてきました。このようなホーリスティックな福音理解は、創刊から三十六年の今日、世界の趨勢となっていることを見ます。

そのような意味でクリスマ新聞は、世界と日本あるいは日本の各地に置かれている神の民を結ぶ情報源であるとともに、多様性をもつ諸教派・教会・クリスマ新聞をつなぐ超教派のフォーラムとしての役割を果たしてきたのではないかと考えます。

週刊クリスマ新聞でも証しニュースやコラムなど様々な形で福音を伝え、クリスマ新聞の信仰の成長に役立てていただいています。月刊の「福音版」はクリスマ新聞でない方々に福音を紹介することに焦点を合わせて編集し、伝道文書として用いています。また、児童版の月刊「らみい」は教会学校などで子どもたちに福音をわかりやすく伝えるために発行してきましたが、より現代っ子の嗜好に合わせて昨年からはマンガを中心にした形態に衣替えし、好評をいただいています。「休息的時間」のブランドで青年向けの伝道文書も発行するようになりまし。さらに近年は、週刊新聞の連載や福音版に掲載した証し・メッセージなどを単行本として新たな形で発行するのを通じ、与えられた福音のリリースを有効活用するように多角化してきています。

今年からは、「いのちのことば社の本社（信濃町）内にあった月刊「百万人の福音」が、お茶の水クリスマンセンター内の「クリスマ新聞」に合流し、「いのちのことば社」が出版事業部として、より多面的に連繋を深め、定期刊行物を通して宣教の働きを統合的に進めていく体制を整えています。

「伝団協」加盟団体「ニュース・フラッシュ」

●お茶の水クリスマンセンター
金曜日夜七時から開催されている「フライデーナイト」は、毎週の集会として定着し活気ができてきました。牧師たちをはじめ、若い方々の協力を得て参加者も増加しています。毎月のメールマガジンなども立ち上げました。

●国際ナビゲーター
仙台・宇都宮・東京・静岡・福岡の各地区で米国の大学生が伝道のために応援に来ています。二ヶ月間滞在しますが、主が大学生の中から多くの救われる人々を起こしてくださるよう。

●福音主義医療関係者協議会
八月十八日、八月二十九日、医師二名に医学生・看護学生各一名参加予定の国外研修のために。また九月十五日に関西で開催の「十代の性」のシンポジウム、十一月二、三日の総会のために。

●日本伝道者協力会
八月二十五、二十七日に熱海の沖電気保養所を会場にリトリートと総会をします。今回は「あなたにもできる伝道説教」というテーマで学ぼうとしています。ごなだでも参加可能です。ご連絡ください。

●総動員伝道
すべての人に福音を伝える働きの一環として三重県の員弁郡と桑名郡にEHC、JCCCの三者の協力でトラック配布をします。千葉県西地区（浦安・市川・船橋・津田沼）で伝道懇談会を開催します。また本田弘慈師の記念誌を作成予定です。日本聖書協会

●現在、日本聖書協会でも最もホットなニュースは「アートバイブル」の頒布が好調なこと。本文ととも聖画三百点以上をオールカラーで掲載。四月発売以来わずか二週間で完売。再入荷。絶賛発売中です！（本体二、八〇〇円）

●このころの友伝道全国連合会
第五十回「このころの友伝道」全国大会が、八月二十六日、二十八日、厚生年金ハートピア熱海にて、「舟の右側に網を！そうすればとれる」を主題に開催されます。

申込み・新宿区歌舞伎町二十九十一
TEL/FAX・〇三三三三〇〇五五八四

●いのちのことば社伝道グループ
七月十日から九月三十日まで、全国のキリスト教書店にて「真夏の読書キャンペーン」を開催しています。子供から大人まで読み応えのある信仰良書に、ぜひ多くの方が出会ってくださるよう。

<お知らせ>

●次回伝道団体訪問ツアー予定
時 九月十二日（金）十四時
場 所 日本国際飢餓対策機構

●伝団協研修会
時 十月二十（月）二十一日（火）
場 所 湯河原厚生年金会館
講 師 水谷恵信師
テーマ 「聖書の学び方」（仮称）

（伝道団体連絡協議会とは）
キリスト教界には大きく分けて二つの分野があります。キリストの十字架の血によって罪赦された人々の集まりとしての「教会」と、クリスマンになった者たちがそれぞれの使命をもつて専門的な分野で伝道活動、福祉活動などを行っている「伝道団体」です。この二つはともに協力し合って神の福音を伝え、神の国の拡大に務めています。教会と伝道団体はともに助け合う必要があります。伝道団体がバラバラに活動していたのでは教会にとって協力しにくいし、伝道団体相互にとつても力を欠くことになり。そこで連絡のために一つになろうと「伝道団体連絡協議会」が生まれました。現在約四十余の団体が傘下にあります。

発行日 二〇〇三年七月三十一日
発行者 村上宣道
編集者 萩生田 充